

# 子育て通信(冬季号)

子どもに向かい合い続ける保護者を応援します。平成31年1月号

【子育て通信】は季刊です。裏面にコラムがあります。

平成30年度家庭教育支援講座

## 親子で楽しむSTEM教室

ゴムの力を使って  
クルマを  
走らせよう

どんなクルマを開発するかワクワク!

特設コースでゴールを目指そう!

いろいろな形状のブロックを組み合わせてクルマを組み立て、ゴムを動力にしてコース上を走らせます。ゴムの持つ弾力性を利用して、動きに変換し、ゴールを目指すことで科学的な試行錯誤を行う力を育みます。

親子で創意工夫・意見交換しながら、ものづくり体験に挑戦してみましょう。目標にチャレンジすることを通じて、親子の関わりを楽しみましょう!



写真提供: 東京学芸大こども未来研究所

開催日程(平成31年)		対象
第1回	2月11日(月祝) 午前10時~正午	小学1年生~3年生 とその保護者
第2回	2月11日(月祝) 午後2時~午後4時	
第3回	3月21日(木祝) 午前10時~正午	
第4回	3月21日(木祝) 午後2時~午後4時	

【会場】墨田区役所131会議室(13階)  
 【住所】墨田区吾妻橋1-23-20  
 【講師】東京学芸大学准教授 大谷 忠 先生  
 【参加料】無料  
 【定員】各回とも子どもと保護者20組・40名程度  
 ※応募者多数の場合は抽選になります。

【申込み】下記の申込み書を申込先まで持参または郵送、FAXをお願いします。

なお、FAXでお申込みの場合には必ず確認の電話をお願いします。

※申し込みは1月25日までです。

申し込みされた方については参加通知書または落選のお知らせを1月31日までに送付します。

【申込み先】墨田区教育委員会事務局地域教育支援課 電話 **5608-6503** FAX **5608-6411**

----- 切り取り線 -----

### 親子で楽しむSTEM教室

ふりがな		参加希望回	第1回 第2回 第3回 第4回
氏名		保護者氏名	
住所	(〒 ) 墨田区	電話番号	



# 『子育て支援コラム』

平成30年第4回テーマ  
【両輪の読書】

▼お健やかに新年をお迎えのことと存じます。年末年始は新たな時代への期待とともに、東京オリンピック・パラリンピックへのカウントダウンで、例年にない高揚感が満ちていました。子どもたちにとっても、自分が歴史(社会)のなかに生きていることを実感する、ひとつのきっかけとなったことでしょう。

▼昭和39年の東京オリンピックを契機に、家庭にテレビが普及したその頃から「若者(子ども)の読書離れ、活字離れ」が言われ始め、急速なIT化を遂げた平成の時代もなお、同様のことが言われています。実際にはどうなのでしょう？デジタルネイティブの若い世代は、存外、活字に親しんでいます。電子機器のマニュアルやゲームの攻略本を夢中で読み、SNS やツイッターに文字を綴り、読んでいます。青空文庫(著作権切れの文学作品等を無償で提供するサイト)から情報端末に配信される『走れメロス』や『こころ』などを横書きで読み、ゲーム機の小さなディスプレイで文学全集を読破もします。私たちは「本=紙が綴じてあるもの」という固定概念を外し、電子媒体で展開するコンテンツも本として認める時を迎えているのです。▼子どもの読書では、10歳から12歳を物語期から伝記期とし、少年少女文学、冒険・推理物語、発明・発見物語、伝記・記録文学・伝奇文学に加え、漫画やコンテンツに親しむことも発達段階の一つと考えます。▼電子媒体の弊害ばかりを危惧するあまり、子どもが読書と出会うチャンスを奪わぬよう、気をつけたいものです。

▼一方、紙の本はその質量で、圧倒的な知への憧れや畏敬の念を感じさせます。司書が子どもたちからよく問われることの一つに「ここ(図書館)にある本、全部読んだの？」と聞かれますが、その本と同量の情報量が収められたICチップやROMを見せても、子どもたちから「全部読んだの？」とは問われることはないでしょう。▼また、読み聞かせやブックトーク、ビブリオバトルなど、本と本に親しむその時間を、周囲の人とシェアし、コミュニケーションを楽しむことができるのも、紙媒体ならではの魅力です。幼い子どもにとっては、家族で同じ本を読む家読(うちどく)が、読書との出会いとして最も自然な方法といえましょう。本を通して楽しさや喜びを共有するこれらの体験は、子どもを本好きにするとともに、読めることへの憧れや大人への信頼感を築きます。

▼これからの読書は紙媒体と電子媒体の両輪が、子どもにその楽しさや生きる力を与えてゆきます。私たち大人は二つがバランスよく回転するよう、子どもと一緒に両輪の読書を楽しみたいものです。

(JPIC 読書アドバイザー 児玉ひろ美)

